



この雲はまふもふくんっていうんだ。

まいにち真っ青な空でふわふわういている。



こうして空から町をながめたりしてる



まふもふくんは、空の青色がすき。

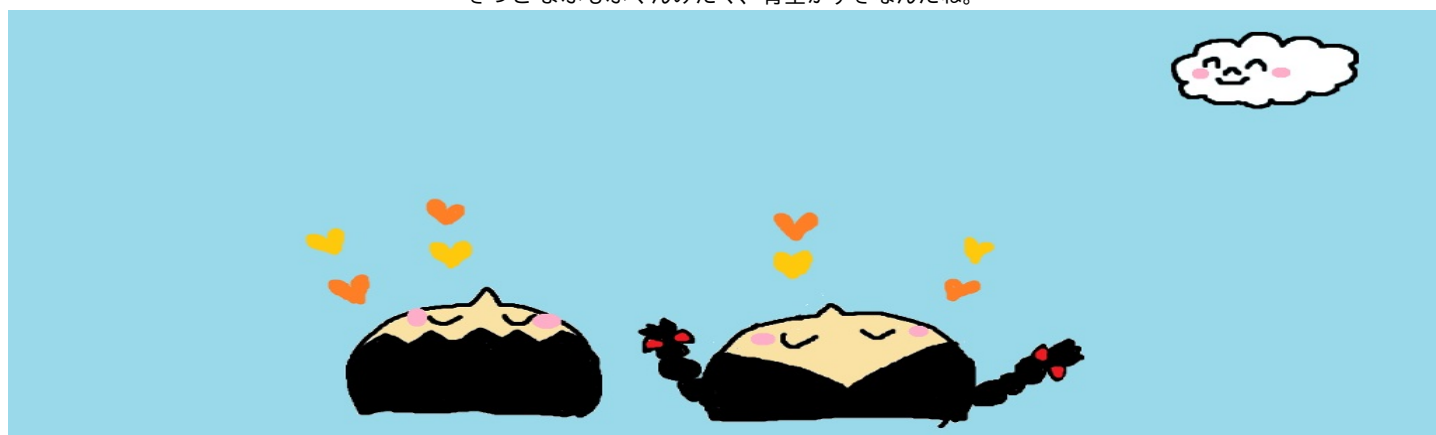
それに空からみえる まちや



それからまふもふくんは こどもたちもすきなんだ。

あ、こどもたちがにこにこしてるでしょ？

きっとまふもふくんみたく、青空がすきなんだね。



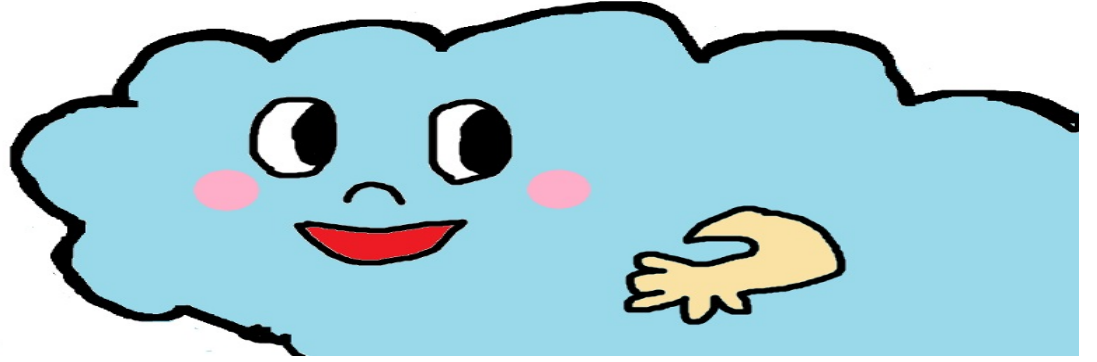
まいにちがハッピーなまふもふくん。

けど、ある日おかしなことに気づいたんだ。



あれ？

空が白いよ



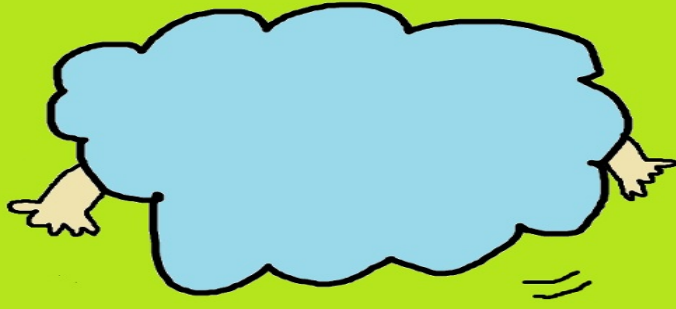
おまけに自分は空の色になっちゃった。

どうしよう、子どもたちがみてる





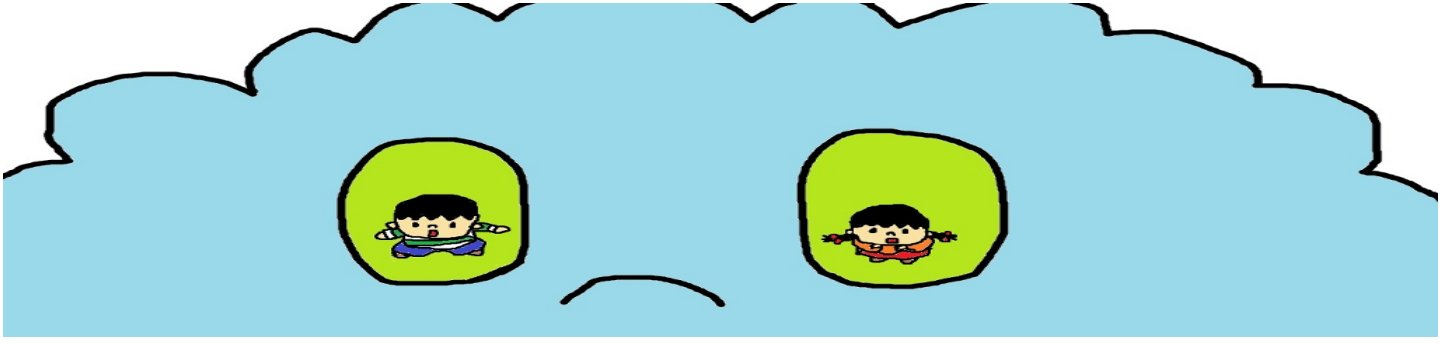
空が好きすぎて・・・空の色をすいとちったんだ



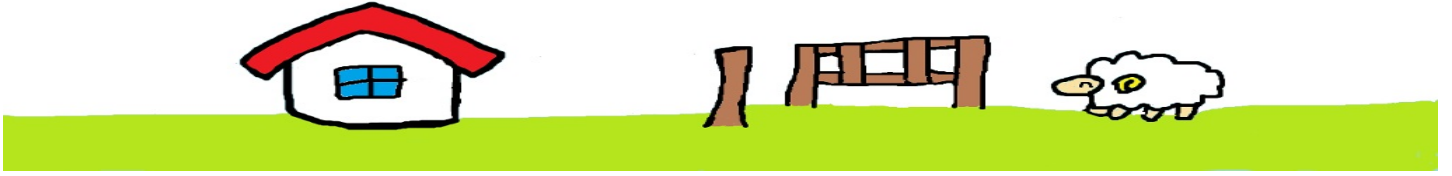
みんな悲しんじゃうよ

どうにかしなくちゃ

まふもふくんは思いました



けど・・・ん？



みんなが空に色をぬりはじめたんだ  
みるみるうちに空は青くなっていった  
そしたらね、



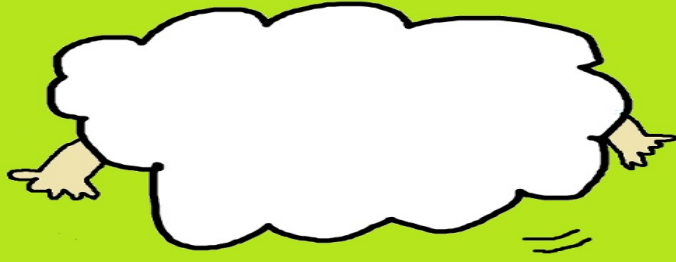
まふもふくんのことも、白色でぬり始めてくれたんだ



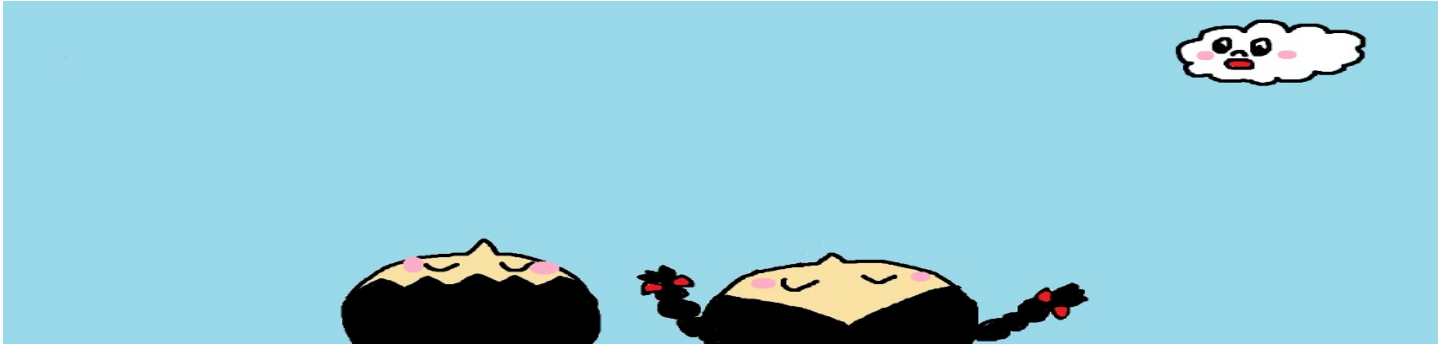
まふもふくんは元の白にもどった！

こどもたちに なんでぼくまで白くぬってくれたの？

ってきた。そしたら



こどもたちを空をみてたんじなくて  
空を見てるまふもふくんを見てたんだって  
だから悲しそうな顔をしていたまふもふくんを助けてあげたみたい



まふもふくんは何だか幸せな気持ちになりました

空の青色をみていたころよりも

もっともっと・・・

